



2026年5月期 決算短信(日本基準)(連結)

2026年7月10日

上場会社名 小津産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7487 URL <https://www.ozu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 柴崎 治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 三崎 剛志

TEL 03-3661-9400

定時株主総会開催予定日 2026年8月27日

配当支払開始予定日

2026年8月28日

有価証券報告書提出予定日 2026年8月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年5月期の連結業績(2025年6月1日～2026年5月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期	10,739	5.1	587	36.5	808	44.5	610	49.4
2025年5月期	10,220	0.9	430	18.5	559	20.7	408	25.2

(注) 包括利益 2026年5月期 161百万円 (86.7%) 2025年5月期 1,214百万円 (262.3%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年5月期	72.57		3.2	3.1	5.5
2025年5月期	48.64		2.2	2.2	4.2

(参考) 持分法投資損益 2026年5月期 39百万円 2025年5月期 42百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年5月期	25,593	19,185	74.5	2,266.16
2025年5月期	26,414	19,219	72.4	2,275.05

(参考) 自己資本 2026年5月期 19,071百万円 2025年5月期 19,126百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年5月期	1,047	364	209	9,617
2025年5月期	849	316	209	8,362

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年5月期		0.00		25.00	25.00	210	51.4	1.1
2026年5月期		0.00		30.00	30.00	252	41.3	1.3
2027年5月期(予想)		0.00		27.00	27.00		51.6	

(注) 2026年5月期期末配当金の内訳 普通配当 27円00銭 上場(店頭公開)30周年記念配当 3円00銭

3. 2027年5月期の連結業績予想(2026年6月1日～2027年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,800	0.6	550	6.4	660	18.3	440	27.9	52.30

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有

除外 1社 (社名)アズフィット株式会社

(注)詳細は、添付資料12ページ「3.連結財務諸表及び主な注記(5)連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)」を参照ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)
 期末自己株式数
 期中平均株式数

2026年5月期	8,435,225 株	2025年5月期	8,435,225 株
2026年5月期	19,263 株	2025年5月期	28,145 株
2026年5月期	8,413,723 株	2025年5月期	8,405,281 株

(参考)個別業績の概要

2026年5月期の個別業績(2025年6月1日～2026年5月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期	8,109	8.1	358	31.2	577	18.9	404	20.7
2025年5月期	7,500	5.9	273	24.8	486	5.5	334	8.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年5月期	48.03	
2025年5月期	39.81	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年5月期	22,909	16,865	73.6	2,003.99
2025年5月期	23,800	17,104	71.9	2,034.51

(参考) 自己資本 2026年5月期 16,865百万円 2025年5月期 17,104百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、将来の業績を保証するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページの「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご高覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報の注記)	14
(重要な後発事象の注記)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2025年6月1日～2026年5月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や個人消費の回復、インバウンド需要の拡大等により、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしその一方で、米国の関税政策、ウクライナ情勢の長期化、中東情勢の緊迫化等の不安定な国際情勢の影響のもと、エネルギー価格および原材料価格の高騰や継続的な物価上昇等依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、2024年6月から2027年5月までの『第一次 中期経営計画2027』を、2024年7月11日に公表いたしました『長期ビジョン：OZU Innovation2034』で掲げた目標達成、発展のための土台づくりの期間と位置づけ、体制構築や経営基盤の再構築を進めてまいりました。

また、2026年2月12日に公表いたしました『長期ビジョン OZU Innovation2034～事業拡大戦略の具体化と投資の考え方～』で掲げた戦略に基づき、お客さまの開拓と新規事業の創造にグループ一丸となって取り組んでまいりました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は107億39百万円(前期比5.1%増)、経常利益8億8百万円(前期比44.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益6億10百万円(前期比49.4%増)となりました。

当連結会計年度におけるセグメント別の状況は以下のとおりであります。

(不織布事業)

クリーン分野(電子・食品・製菓等)では、中東情勢の影響により資材確保を優先する動きが一部の取引先にみられ、需要の増加が発生いたしました。加えて、国内AI関連需要の取り込みが奏功したこと、期末にかけて製菓関連需要が拡大したことが寄与しました。さらに、海外における光学関連需要も好調に推移した結果、売上高、利益面ともに前期を上回りました。

ウェルネスケア分野(医療・介護・コスメ等)では、国内コスメティック製品の需要が好調に推移したこと、およびウェット製品の需要等が第4四半期も好調に推移した結果、売上高、利益面ともに前期を上回りました。

エコプロダクツ分野(鉄鋼・電力・建設等)では、除染布(五大力)の受注が当初計画を下回ったものの、環境対応製品が堅調に推移したこと等により、売上高は前期を下回るものの、利益面は上回りました。

コンシューマー分野(一般消費者向け)では、ドラッグストア等向けの除菌ウェット製品やメガネクリーナーの販売が堅調に推移したことから、売上高は前期を上回り、利益面も改善いたしました。

小津(上海)貿易有限公司では、光学関連向け販売が好調に推移し、売上高、利益面ともに前期を上回りました。

アグリ分野を担う日本プラントシーダー株式会社では、海外への資材販売が苦戦したものの、国内の資材販売および機械販売が好調に推移したことにより、前期に比べ売上高は横ばい、利益面は上回りました。

ウェットティッシュ等の製造販売を営む株式会社ディプロでは、OEM品の販売が伸び悩んだことに加え、業務基盤の整備、安定供給体制の確保といった将来に向けた体制構築への投資がかさんだことから売上高、利益面ともに前期を下回りました。

これらの結果、売上高は104億81百万円(前期比5.2%増)、セグメント利益は5億10百万円(前期比41.1%増)となりました。

(その他の事業)

除菌関連事業を営むエンビロテックジャパン株式会社では、過酢酸製剤の知名度向上に向けた地道な活動と、販売代理店への販促活動ならびに食品殺菌用途および防疫対策用途に向けた拡販に注力したことにより、売上高は前期を上回るものの、人件費等の販管費が増加したことにより、利益面は横ばいとなりました。不動産賃貸事業につきましては、テナントの退去があり、売上高は前期を下回るものの、利益面は上回りました。

これらの結果、売上高は2億58百万円(前年同期比0.4%減)、セグメント利益は74百万円(前年同期比12.5%増)となりました。

(注) 日本プラントシーダー株式会社の決算期は2月末日のため、当連結会計年度には2025年3月から2026年2月の実績が、株式会社ディプロ、株式会社旭小津およびエンビロテックジャパン株式会社の決算期は3月末日のため、当連結会計年度には各社の2025年4月から2026年3月の実績が反映されております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は、「現金及び預金」12億55百万円の増加、「電子記録債権」3億56百万円の減少等により、前期比5億81百万円増加の145億68百万円となりました。固定資産は、「投資有価証券」14億44百万円の減少等により、前期比14億3百万円減少の110億24百万円となりました。

この結果、資産合計は前期比8億21百万円減少の255億93百万円となりました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は、「1年内返済予定の長期借入金」8億円の増加、「1年内償還予定の社債」5億円の増加、「支払手形及び買掛金」4億13百万円の減少等により、前期比6億86百万円増加の45億64百万円となりました。固定負債は、「長期借入金」8億円の減少、「社債」5億円の減少等により、前期比14億74百万円減少の18億42百万円となりました。

この結果、負債合計は前期比7億87百万円減少の64億7百万円となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、前期比33百万円減少の191億85百万円となりました。これは「利益剰余金」4億の増加、「その他有価証券評価差額金」4億93百万円の減少等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ12億55百万円増加し、96億17百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と、それらの増減の要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は10億47百万円(前期比1億98百万円増)となりました。収入の主な内訳は、「税金等調整前当期純利益」8億17百万円、「売上債権の増減額」6億15百万円、支出の主なものは、「仕入債務の増減額」4億13百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は3億64百万円(前期比48百万円増)となりました。収入の主なものは、「投資有価証券の売却による収入」6億38百万円、支出の主なものは、「長期前払費用による支出」1億22百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2億9百万円(前期比0百万円減)となりました。支出の内訳は、「配当金の支払額」2億9百万円であります。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは、下表のとおりであります。

	2023年5月期	2024年5月期	2025年5月期	2026年5月期
自己資本比率(%)	73.1	73.3	72.4	74.5
時価ベースの自己資本比率(%)	56.1	55.5	52.9	57.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	3.2	4.8	3.0	2.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	64.5	39.1	41.5	42.7

(注)1. 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により算出

(注)2. 自己資本比率：自己資本／総資産

(注)3. 時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

*株式時価総額：期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式数控除後)

(注)4. キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

(注)5. インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

*キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローの数値

*有利子負債：連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債

*利払い：連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額

(4) 今後の見通し

国内需要はインバウンド効果などを背景に緩やかな回復基調が持続することが期待される一方、通商政策に伴う為替変動、物価高の継続、不安定な国際情勢によるエネルギー・原材料価格の不透明要因が依然として残されており、先行きについては予断を許さない状況が続くものと思われま

す。このような状況のもと、当社グループは、『長期ビジョン：OZU Innovation2034』を策定し、“自ら製品を企画・開発・生産する機能を備えた商社”への発展を目指しております。

2024年6月から2027年5月までの3カ年の『第一次 中期経営計画2027』は、長期ビジョンの実現・発展に向けた土台づくりの期間と位置付けております。その最終年度にあたる当連結会計年度におきましては、計画の着実な達成に向けて総力を挙げるとともに、次期中期経営計画へ繋げるべく、これまで以上に経営基盤の体制整備と強化に注力してまいります。併せて、2026年2月12日に公表いたしました『長期ビジョン OZU Innovation2034～事業拡大戦略の具体化と投資の考え方～』に掲げる「コア・コンピタンス戦略」および「SEEDs戦略」に基づき、お客さまの開拓と新規事業の創造にグループ一丸となって取り組んでまいります。

各事業分野における2027年5月期の見通しと取組み内容は以下のとおりです。

(不織布事業)

クリーン分野（電子・食品・製薬等）におきましては、AI・データセンター関連分野向けを中心に需要が好調に推移すると予想されます。当該分野を中心に従来以上にお客さまとのコミュニケーションを強化し、提案力を高め、拡販を進めます。また、「コア・コンピタンス戦略」に基づき、取扱い商材の拡充を目指し、新製品・サービスの探索に注力してまいります。海外においても、海外日系企業へのアプローチ強化を図り、国内外一体となった営業活動を実施してまいります。

ウェルネスケア分野におきましては、国内コスメティック製品の販売減少が見込まれるものの、株式会社ディプロの製造機能を活用し、在宅医療や防災備蓄に関連した製品開発および新規顧客の開拓を進めてまいります。また、従来のメディカルやコスメティックのカテゴリーにとらわれず、人々のウェルネスケア（心身両面の健康）に寄与する製品の販売に努めてまいります。

エコプロダクツ分野（鉄鋼・電力・建設等）におきましては、不採算、低成長分野の見直しによる体質改善を図るとともに、環境対策製品であるオイルテイカー（油吸着剤）の拡販を軸とし、環境に配慮した製品販売とともに食・エコに関わる新製品開発も推進してまいります。

コンシューマー分野（一般消費者向け）におきましては、株式会社ディプロ製造のウェット製品、マスク製品の販売を軸に一般消費者向け製品の開発、拡販を行ってまいります。

小津（上海）貿易有限公司におきましては、好調に推移すると見込まれるAI・データセンター関連分野や光学関連企業を中心に営業活動を進めてまいります。

日本プラントシーダー株式会社におきましては、近年多く見られる天候不順、自然災害等の影響が懸念されるものの、新製品開発のスピードを飛躍的に高め、シーダー農法対象作物を迅速に展開していくことを成長の牽引軸といたします。さらに、きめ細かいお客さま対応による主力製品の拡販を並行して推進し、売上高の増強と収益拡大に努めてまいります。

株式会社ディプロにおきましては、当社との連携を一層強め、既存顧客における製品ラインナップの拡充や新規顧客の獲得を目指します。製造機能の活用・拡充を図り高機能商品の開発を進めるとともに、生産性向上策等にも積極的に取り組み、品質の向上と原価低減の実現を図ってまいります。

(その他事業)

除菌関連事業を営むエンビロテックジャパン株式会社におきましては、食品殺菌用途および畜産分野の防疫対策用途として過酢酸製剤の販促活動を積極的に行うとともに、小津グループ各社との連携を一層強化し、販路の拡大に注力してまいります。

当社を取り巻く環境は厳しいものの、長期ビジョンに掲げる目指す姿・事業像実現のための土台づくりを着実に進めるとともに、営業力強化等、戦略性を優先した事業運営を実施してまいります。

これらの結果、2027年5月期の連結業績予想は、売上高108億円、営業利益5億500万円、経常利益6億600万円、親会社株主に帰属する当期純利益4億400万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは日本基準を適用しております。国際財務報告基準（IFRS）の適用については、国内外の諸事情を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当連結会計年度 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,362,516	9,617,685
受取手形	177,865	33,831
電子記録債権	1,247,732	890,738
売掛金	1,855,057	1,738,026
商品及び製品	1,197,138	1,159,405
原材料	526,888	537,841
その他	619,439	592,160
貸倒引当金	△275	△1,396
流動資産合計	13,986,364	14,568,292
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,209,545	6,210,902
減価償却累計額	△3,697,054	△3,850,245
建物及び構築物(純額)	2,512,490	2,360,656
機械装置及び運搬具	2,393,610	2,454,981
減価償却累計額	△2,071,523	△2,185,166
機械装置及び運搬具(純額)	322,086	269,814
土地	1,466,833	1,466,833
その他	476,102	473,393
減価償却累計額	△420,906	△440,765
その他(純額)	55,196	32,627
建設仮勘定	3,188	—
有形固定資産合計	4,359,795	4,129,932
無形固定資産		
その他	29,798	71,324
無形固定資産合計	29,798	71,324
投資その他の資産		
投資有価証券	7,812,873	6,367,954
長期貸付金	2,370	1,815
繰延税金資産	22,663	17,238
その他	335,529	439,683
貸倒引当金	△1,050	△3,237
投資損失引当金	△134,149	—
投資その他の資産合計	8,038,237	6,823,454
固定資産合計	12,427,832	11,024,712
資産合計	26,414,196	25,593,004

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当連結会計年度 (2026年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,378,065	964,961
短期借入金	1,270,000	1,270,000
1年内償還予定の社債	—	500,000
1年内返済予定の長期借入金	—	800,000
未払法人税等	104,146	36,130
賞与引当金	37,955	35,122
その他	1,088,202	958,782
流動負債合計	3,878,370	4,564,996
固定負債		
社債	500,000	—
長期借入金	800,000	—
繰延税金負債	1,822,231	1,662,923
退職給付に係る負債	146,650	136,825
その他	47,593	42,598
固定負債合計	3,316,475	1,842,347
負債合計	7,194,845	6,407,344
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,322,214	1,322,214
資本剰余金	1,402,693	1,407,187
利益剰余金	12,081,881	12,482,324
自己株式	△33,351	△22,826
株主資本合計	14,773,437	15,188,899
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,312,545	3,818,868
為替換算調整勘定	40,533	64,154
その他の包括利益累計額合計	4,353,079	3,883,023
非支配株主持分	92,834	113,737
純資産合計	19,219,350	19,185,660
負債純資産合計	26,414,196	25,593,004

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
売上高	10,220,514	10,739,904
売上原価	6,908,936	7,180,469
売上総利益	3,311,578	3,559,434
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	345,743	372,473
貸倒引当金繰入額	6	5,407
役員報酬	222,900	221,933
給料及び手当	915,359	980,546
賞与引当金繰入額	12,063	11,643
福利厚生費	216,640	218,871
退職給付費用	51,685	49,676
減価償却費	86,440	84,344
賃借料	46,181	45,262
その他	984,150	981,955
販売費及び一般管理費合計	2,881,172	2,972,115
営業利益	430,406	587,318
営業外収益		
受取利息	3,386	11,522
受取配当金	120,829	139,566
持分法による投資利益	42,626	39,088
為替差益	—	27,705
その他	16,024	30,529
営業外収益合計	182,867	248,412
営業外費用		
支払利息	18,486	23,280
売上割引	2,658	2,119
為替差損	29,677	—
その他	3,191	2,265
営業外費用合計	54,013	27,666
経常利益	559,260	808,064
特別利益		
固定資産売却益	123,433	144
投資有価証券売却益	25,939	6,639
補助金収入	7,736	729
保険解約返戻金	2,228	—
受取保険金	—	3,050
特別利益合計	159,337	10,562
特別損失		
固定資産除却損	8,010	1,617
固定資産圧縮損	6,000	—
投資有価証券評価損	3,998	—
投資損失引当金繰入額	134,149	—
特別損失合計	152,158	1,617
税金等調整前当期純利益	566,439	817,009
法人税、住民税及び事業税	205,116	132,214
法人税等調整額	△66,890	53,271
法人税等合計	138,226	185,486
当期純利益	428,213	631,523
非支配株主に帰属する当期純利益	19,363	20,903
親会社株主に帰属する当期純利益	408,849	610,619

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
当期純利益	428,213	631,523
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	821,506	△447,739
為替換算調整勘定	△9,750	23,621
持分法適用会社に対する持分相当額	△25,758	△45,937
その他の包括利益合計	785,997	△470,055
包括利益	1,214,210	161,467
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,194,846	140,564
非支配株主に係る包括利益	19,363	20,903

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,322,214	1,399,402	11,883,030	△41,811	14,562,835
当期変動額					
剰余金の配当			△209,998		△209,998
親会社株主に帰属する当期純利益			408,849		408,849
自己株式の処分		3,291		8,459	11,750
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	3,291	198,850	8,459	210,601
当期末残高	1,322,214	1,402,693	12,081,881	△33,351	14,773,437

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	3,516,797	50,284	3,567,081	73,470	18,203,387
当期変動額					
剰余金の配当					△209,998
親会社株主に帰属する当期純利益					408,849
自己株式の処分					11,750
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	795,748	△9,750	785,997	19,363	805,361
当期変動額合計	795,748	△9,750	785,997	19,363	1,015,962
当期末残高	4,312,545	40,533	4,353,079	92,834	19,219,350

当連結会計年度(自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,322,214	1,402,693	12,081,881	△33,351	14,773,437
当期変動額					
剰余金の配当			△210,177		△210,177
親会社株主に帰属する当期純利益			610,619		610,619
自己株式の処分		4,494		10,525	15,019
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	4,494	400,442	10,525	415,462
当期末残高	1,322,214	1,407,187	12,482,324	△22,826	15,188,899

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	4,312,545	40,533	4,353,079	92,834	19,219,350
当期変動額					
剰余金の配当					△210,177
親会社株主に帰属する当期純利益					610,619
自己株式の処分					15,019
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△493,676	23,621	△470,055	20,903	△449,152
当期変動額合計	△493,676	23,621	△470,055	20,903	△33,689
当期末残高	3,818,868	64,154	3,883,023	113,737	19,185,660

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	566,439	817,009
減価償却費	365,759	358,994
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△146	3,308
投資損失引当金の増減額 (△は減少)	134,149	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,826	△2,833
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	308	△9,824
受取利息及び受取配当金	△124,216	△151,088
支払利息	18,486	23,280
為替差損益 (△は益)	27,141	△38,971
持分法による投資損益 (△は益)	△42,626	△39,088
有形固定資産売却損益 (△は益)	△123,433	△144
有形固定資産除却損	8,010	1,617
固定資産圧縮損	6,000	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△25,939	△6,639
投資有価証券評価損益 (△は益)	3,998	—
補助金収入	△7,736	△729
受取保険金	—	△3,050
売上債権の増減額 (△は増加)	△175,334	615,448
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△98,014	34,151
仕入債務の増減額 (△は減少)	214,092	△413,103
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△43,680	△29,393
その他の資産の増減額 (△は増加)	118,634	48,690
その他の負債の増減額 (△は減少)	117,489	△88,095
その他	12,617	10,429
小計	959,827	1,129,967
利息及び配当金の受取額	124,163	151,046
利息の支払額	△20,468	△24,559
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△222,204	△212,613
補助金の受取額	7,736	729
保険金の受取額	—	3,050
営業活動によるキャッシュ・フロー	849,053	1,047,620
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△206,668	△81,832
有形固定資産の売却による収入	464,708	144
無形固定資産の取得による支出	△5,407	△62,030
投資有価証券の取得による支出	△1,064	△1,395
投資有価証券の売却による収入	40,560	638,042
貸付金の回収による収入	596	596
長期前払費用の取得による支出	—	△122,469
保険積立金の払戻による収入	24,266	—
その他	△789	△6,701
投資活動によるキャッシュ・フロー	316,201	364,353
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△209,997	△209,818
財務活動によるキャッシュ・フロー	△209,997	△209,818
現金及び現金同等物に係る換算差額	△31,548	53,014
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	923,709	1,255,169
現金及び現金同等物の期首残高	7,438,806	8,362,516
現金及び現金同等物の期末残高	8,362,516	9,617,685

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

(持分法適用の範囲の変更)

当連結会計年度において、持分法適用関連会社であったアズフィット株式会社の全株式を売却したため、同社を持分法適用の範囲から除外しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱う商品・製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、商品・製品・サービス別のセグメントから構成されており、「不織布事業」を報告セグメントとしております。「不織布事業」は、不織布製品の加工、販売及び輸出入を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	不織布				
売上高					
外部顧客への売上高	9,961,152	259,362	10,220,514	—	10,220,514
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	37,915	37,915	△37,915	—
計	9,961,152	297,277	10,258,430	△37,915	10,220,514
セグメント利益	361,538	66,430	427,969	2,437	430,406
セグメント資産	16,904,030	1,079,347	17,983,377	8,430,818	26,414,196
その他の項目					
減価償却費	327,512	38,246	365,759	—	365,759
有形固定資産の増加額	162,764	29,078	191,843	—	191,843

当連結会計年度(自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	不織布				
売上高					
外部顧客への売上高	10,481,586	258,317	10,739,904	—	10,739,904
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	39,767	39,767	△39,767	—
計	10,481,586	298,085	10,779,671	△39,767	10,739,904
セグメント利益	510,231	74,726	584,957	2,360	587,318
セグメント資産	17,573,023	931,059	18,504,083	7,088,921	25,593,004
その他の項目					
減価償却費	333,674	25,320	358,994	—	358,994
有形固定資産の増加額	83,048	6,490	89,538	—	89,538

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び除菌関連事業を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益

(単位:千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	2,437	2,360

セグメント資産

(単位:千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
全社資産(注)	8,430,818	7,088,921

(注) 全社資産は、報告セグメントに帰属しない資産であり、主に投資有価証券等であります。

3. セグメント利益及び資産は、連結財務諸表の営業利益及び資産合計と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
1株当たり純資産額	2,275.05円	2,266.16円
1株当たり当期純利益金額	48.64円	72.57円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当連結会計年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	408,849	610,619
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	408,849	610,619
期中平均株式数(株)	8,405,281	8,413,723

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。